



【学校スローガン】

ホームページアドレス

メールアドレス

NTBだより

Next Try & Brush up 七尾東部中GIFT

<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/nanaoj/>

toubutyu@edu.city.nanao.ishikawa.jp

七尾市立七尾東部中学校

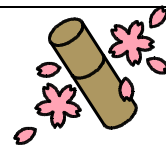
学校だより

第 18 号

令和6年3月19日発行

令和5年度卒業証書授与式が行われ

137名が七尾東部中を巣立っていきました



3月8日（金）に令和5年度の卒業証書授与式が行われました。来賓として七尾市教育委員会教育長八崎和美様、育友会会長政浦義輝様をお招きし、保護者の皆さん、1，2年生と一緒に体育館で行うことができました。2月末まで避難所になっていましたが、地域の方のご理解で体育館で卒業式を行うことができました。有り難うございます。卒業生が担任からの呼名を受けた後、クラス代表に卒業証書が授与されました。また、卒業生を代表して、相原帆菜さんが育友会会長より記念品を受け取りました。送辞は、在校生を代表して浜高優衣さんが卒業生への感謝と尊敬の気持ちを言葉に、答辞は卒業生を代表して大橋隼人さんが、家族や友達への感謝、後輩へのエールとともに「七尾東部中学校で学んだことを忘れず、前を向き、自分を信じて、一歩ずつ進んでいきたい」と力強く述べました。式の後の最後の学級での時間では、担任の先生から一人一人に卒業証書が渡され、担任の先生やクラスの仲間との別れを惜しむ姿が見られました。



（1組、さわやか学級入場）



（3組、ほほえみ学級入場）



（答辞 大橋隼人さん）



（呼名の様子）



（1組 教室の様子）



（2組 教室の様子）



（3組 教室の様子）



（4組 教室の様子）



（祝電）

同窓会入会式が行われました

3月1日（金）に同窓会入会式が行われ、同窓会の大家為一会長から同窓会歓迎の言葉をいただきました。令和5年度の幹事は次の通りです。



（クラス代表）

クラス	代	表
1組	大岡 勇翔	木森 花
2組	関軒 壮佑	小林 花音
3組	毎田 駿	山本 紗季
4組	横山 朋樹	春成 柚杏
学年代表	関軒 壮佑	木森 花

（小学校代表）

クラス	代	表
山王小	堀 幸太郎	達 萌々菜
天神山小	羽土 智貴	相原 帆菜
東湊小	大橋 隼人	小川 蒼衣

学校関係者評価がまとまりました



学校評価委員（学校評議員を兼ねる）の6名の皆様による今年度の学校評価がまとまりました。評価結果からは「学力向上」や「主体性の育成」、いじめ・不登校の未然防止に向けた取組をより一層努力していく必要性を感じました。今後、課題の改善を図っていきます。結果は次の通りです。

A：達成されている（十分取り組んでいる）

B：ほぼ達成されている（取り組んでいる）

C：あまり達成されていない（取組が消極的である）

D：全く達成されていない（取り組んでいる様子が伺えない）

評価内容	評価の観点	評価結果
G 学力の向上	●校内研修を柱とした主体的・対話的で深い学びの実践 ●単元デザインを意識した授業づくりの推進 ●「七尾東部スタンダード」に基づいた規律ある授業の実践 ●家庭学習の内容を工夫し、保護者と連携した家庭学習の充実 ●七尾の自然・歴史・文化・産業（長谷川等伯、水墨画、七尾城跡）を教材としたSDGsの視点を重視したふるさと教育の推進	B
I ICTの積極的活用	●生徒一人一台端末を利用した授業の推進 ●ICTを活用して、生徒同士が対話したり、協働的な学びをしたりする授業の推進 ●eラーニングやドリルパークを活用した個別最適な学びの推進	A
F いじめ・不登校の未然防止 早期発見	●あらゆる教育活動における「自己有用感に裏付けられた自尊感情」の育成 ●外部人材や家庭と連携したメディアリテラシー教育の充実 ●「考え議論する道徳授業」、「ゲストティーチャーや体験活動を活用した道徳教育」の実践を通じた規範意識の醸成 ●Tobu's Talk（構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニング）の計画的実施	B
T 自ら考え、判断し、行動	●生徒会活動を中心とした生徒の自発的な活動の奨励と生徒が自己決定する場の提供と前向きに挑戦しようとする姿勢の醸成 ●「なぜ？」「どうして？」と物事の本質を問う活動を通して、生徒一人一人が考え、発信する場面の設定 ●キャリア教育の充実と夢や目標を持つことができる体験活動の推進	B
信 信頼される学校づくり	●危機管理意識の高い教職員集団の育成と問題発生時等における誠実かつ迅速な対応の徹底 ●生徒の学びや成長の連続性を意識した学校間の連携の推進 ●地域行事への積極的な関わりと地域の教育力の活用と地域への積極的な情報公開や発信及び育友会との連携	A
働 働き方改革	●教職員の意識改革と業務の時間的・人的な平準化による時間外勤務時間の減少 ●月2回の定時退校日の設定や平日の退校目標19時の設定、リフレッシュウィークと学校閉庁日の確実な履行 ●付けたい資質・能力を明確にした統合や精選を踏まえた生徒会行事の企画運営 ●教材・教具・指導法の共有化と若手教員の早期育成を進めることでの時間外勤務時間縮減	B

5名の皆さんに若林スポーツ賞が贈られました

令和5年度の若林スポーツ賞受賞者が決まり、本校からは次の5名の生徒が選ばれました。選ばれた皆さん、おめでとうございます。

鳥本 崇仁、横川 天馬、坂井 実優、小西 悠花、川江心優乃

